

入試ミスについて

1. 対象学部学科

看護学部看護学科

医療学部理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、視能訓練学科

2. 募集人員

○学校推薦型選抜（公募制）

看護学部看護学科 32 名

医療学部理学療法学科 12 名、作業療法学科 12 名、言語聴覚学科 12 名、視能訓練学科 12 名

合計 80 名

○帰国生徒特別選抜

上記それぞれの学部学科で若干名

3. 受験者数

○学校推薦型選抜（公募制）

看護学部看護学科 28 名

医療学部理学療法学科 30 名、作業療法学科 4 名、言語聴覚学科 2 名、視能訓練学科 4 名

合計 68 名

○帰国生徒特別選抜

看護学部看護学科 1 名

4. ミスの内容

【ミスがあった設問】

問3 次の各和文の意味を表すようにそれぞれの（ ）内の語を並べ替える。すると不要な語が1語出てくる。その不要な語を、それぞれの選択肢①～④のうちから1つ選べ。ただし、（ ）内では文頭に来るべき語も小文字で始めてある。

(4) 彼はそんな話を信じるほど愚かではない。

He (believe / better / doesn't / knows / than / to) such a story.

① believe ② better ③ knows ④ than

【ミスの内容】

上記設問において、指示どおりの英文を作成すれば、

He knows better than to believe such a story.

となり、与えられた（ ）内の語のうち、“doesn't”が不要になりますが、当該語が選択肢になく、正答が存在しない設問となっていました。

また、正答が存在しない設問となっているにもかかわらず、受験者 69 名のうち 7 名の解答を正答としていました。

5. 配点

1点

6. ミスが判明した経緯

令和5年9月30日に、令和5年度入試の一般常識試験の出題例を高等学校に無償配布したところ、当該高等学校の教諭から指摘を受けた高校生から問い合わせがあり、本学で検証した結果、ミスが判明したものです。

7. 受験者への対応

当該ミスがあった設問については、当初から正解とされていた受験者を除き、一律1点を加点する対応としました。

当該対応をおこなった結果、当初の合否判定への影響はありませんでした。

8. 今後の再発防止策

この度のミスは、問題作成時の点検・確認不足により生じました。

この度のミスを受けて、今後は複数の者による相互チェック体制を強化し、再発防止に努めてまいります。

<本件に関する問い合わせ先>

福岡国際医療福祉大学 事務部

住田 憲紀

電話：092-832-1200

FAX：092-832-1167

E-メール：n.sumita@takagigakuen.ac.jp